

鷹嘴建設(仙台市)

## 豪雨受け秋田県男鹿市に寄付

復旧・復興を支援

鷹嘴建設(仙台市) 高橋英文代表取締役社長は4日、豪雨災害に見舞われた秋田県男鹿市に復旧・復興支援のため100万円を寄付した。

当日は、高橋社長と高橋遼司同社企画開発室長が男鹿市を訪れ、菅原広二男鹿市長に目録を手渡した。

高橋社長は、「男鹿が好きて、コロナ禍の時以外6、7年以上、毎月のように訪れている。日本のどこかで必ず災害が起きているような現在、被災地に良い思い出や知り合いを持つ人が復興に貢献できればと考えた」と寄付の経緯を説明した。



高橋社長(左)と菅原市長

菅原市長は1997年から98年にかけて東北建設業青年会の会長を務め、高橋社長とは面識があり、「男鹿を何度も訪れ、今回は寄付も頂き感謝している」と応じた。

加えて、山崩れで被災した茶臼配水池送水管や比治川の氾濫、農作物などの被害状況を話し、「送水管が被災し、市中心部の船川地区などで5日間断水したが、市管工事組合の会員の懸命な仮復旧工事で難をしのいだ」と説明。「何かが起きた時に真っ先に頼りになるのが地元の建設業者。決して無くしてはならない」と話した。